

令和元年 8 月臨時会

令和元年 8 月 7 日

市 長 説 明 要 旨

本日、令和元年8月臨時会を招集いたしましたところ、ご出席を賜りありがとうございます。

本臨時会でご審議いただきます議案件は、平成30年度男鹿みなと市民病院事業会計決算の認定など7件であります。提案理由の説明に先立ちまして、諸般の報告を申し上げます。

まず、「北浦雲昌寺のアジサイ」についてであります。

北浦雲昌寺のアジサイは、初夏の男鹿の観光名所として、年々人気が高まっております。

今年はライトアップによる夜間の観覧に加え、地域住民が街案内を行う「北浦まちびとコンシェルジュ」の設置やDMOによる団体バス約100台の誘致などの新たな取組による効果もあり、6月15日から先月15日までの観覧者数は、昨年よりも約7,000人増の約5万2,000人と伺っております。

次に、「道の駅おが創業祭33まつり」についてであります。

このイベントは、道の駅おが「オガーレ」のオープン1周年を記念して先月6日、7日の二日間にわたって開催されました。

バーベキューコーナーや男鹿グルメ屋台コーナーなどに加え、しょっつるサイダーの早飲み大会や紅ズワイガニの詰め放題等の各種イベントが行われ、二日間で約7,100人の来場者で大いに賑わいました。

次に、「Funakawa ひのめ市」についてであります。

先月21日、船川の元浜町三角広場や旧第一生命ビルなど3か所を会場として開催されたFunakawa ひのめ市は、オーガニックと「男鹿に行く」をかけた「オガニック」をテーマとした1日限定のマーケットであります。

第5回となる今回は、60店舗ほどが出店し、約3,500人の来場

者で賑わいました。

次に、「男鹿ナマハゲロックフェスティバル」についてであります。

屋外での開催が 10 回目の節目となる今回は、先月 26 日から 28 日まで初の 3 日間の開催として行われ、市、県内外から約 1 万 7,000 人の来場者があったと伺っております。

地元の若者たちにより、音楽の力による地域活性化をテーマに始められ、今年で 13 年目となり、男鹿の夏の風物詩として定着してきたものと考えており、今後の更なる発展を期待するところで

次に、「宮沢海岸夕陽フェスティバル」についてであります。

26 回目を迎える宮沢海岸夕陽フェスティバルが、先月 27 日、宮沢海水浴場を会場に開催されました。

ヤートセ踊りやフラダンス、地域の方々による盆踊りなどが実施され、市内外から多くの海水浴客に訪れていただきました。

次に、「第 33 回日本海メロンマラソン」についてであります。

今年で第 33 回を迎えたメロンマラソンは、今月 4 日に 3,394 人の申込みのもと開催されました。

大会の開催に当たりご協力を賜りました多くの方々に、この場をお借りし、改めてお礼申し上げます。

次に、クルーズ船の船川港への寄港についてであります。

今月 5 日に「飛鳥Ⅱ」が「竿燈・ねぶたまつりクルーズ」の寄港地として、船川港に入港しました。

当日は、埠頭において、歓迎セレモニーや、なまはげとの記念撮影などの歓迎イベントを実施したほか、埠頭からシャトルバスを運行し、お客様を「オガール」にご案内いたしました。

当日の乗船客数は約 850 名で、このうちオプションツアーにより約 270 名の方に男鹿観光のコースにご参加いただいたほか、約 220 名の方がシャトルバスを利用して「オガーレ」を訪れております。

次に、ごみ有料化に関する住民説明会についてであります。

先月 25 日から今月 5 日までの 10 日間にわたって市内 9 か所でごみ有料化に関する住民説明会を開催いたしました。

説明会には、延べ 204 人の市民が参加し、ごみの減量化が進展しない理由や正しい分別方法などごみの減量化に関する意見が多く、市民の高い関心が示されております。

ごみ有料化については、来年度の実施に向け、進めてまいりたいと考えておりますが、これまでの議会や住民からの意見について、内容を十分に検討した上で、「男鹿市家庭系ごみ有料化実施計画」に反映させてまいります。

以上で諸般の報告を終わり、次に提案理由のご説明を申し上げます。

まず、議案第 61 号平成 30 年度男鹿みなと市民病院事業会計決算の認定については、同事業会計決算の認定を求めるもので、収益的収支において、収入 24 億 8,129 万 6,020 円、支出 24 億 9,423 万 7,776 円で、この結果、純損失は 1,294 万 1,756 円となったものであります。

次に、議案第 62 号平成 30 年度男鹿市上水道、ガス、下水道、農業集落排水及び漁業集落排水事業会計決算の認定については、同事業会計決算の認定を求めるもので、上水道事業会計では、収益的収支において、収入 5 億 9,893 万 7,751 円、支出 5 億 9,349 万 5,219 円で、この結果、税抜きの純利益は 544 万 2,532 円となっ

たものであります。

ガス事業会計では、収益的収支において、収入 5 億 4,452 万 9,197 円、支出 5 億 5,278 万 5,640 円で、この結果、税抜きの純損失は 825 万 6,443 円となったものであります。

下水道事業会計では、収益的収支において、収入 8 億 2,157 万 8,531 円、支出 7 億 6,867 万 1,666 円で、この結果、税抜きの純利益は 5,290 万 6,865 円となったものであります。

農業集落排水事業会計では、収益的収支において、収入 9,068 万 857 円、支出 8,365 万 9,272 円で、この結果、税抜きの純利益は 702 万 1,585 円となったものであります。

漁業集落排水事業会計では、収益的収支において、収入 9,007 万 6,457 円、支出 8,458 万 9,226 円で、この結果、税抜きの純利益は 548 万 7,231 円となったものであります。

以上、提案理由についてご説明を申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご認定を賜りますようお願い申し上げます。